



## 第八回神戸文学賞受賞作品

### 連載小説〈最終回〉

# 昔の眼

服部洋介 絵／貝原六一

題字・服部洋介

父親は、実の母親とは違う女との間に二人の子供を作り、その子供達とは親子としてくらしている。小学校三年と幼稚園に行っている「弟」と「妹」を恵子はかわいらしいと思った。かわいという気持ち以外に何もなくて嫉妬する気も別に起らなかった。

彼氏は

「なんだよ、あれでも親かよ。自分の子供ほっておいて、のうのうとくらしてさ。僕だったらそんなこと絶対しないよ」

と力んでいたが、彼氏が力めば力むほど恵子は白けてきた。彼氏も、もしかしたら養育費くらい、おどして出させてやろう、くらいのことを思っていたかもしれない。あるいは単純に

「僕なら恵子を不幸にしないよ」

とでも言いたかったのかもしれない。恵子の中から、こういう種類の不幸が、すっかりと整理されてしまっているのだろうか。俺にはそれが信じられなかった。

その夜も、昨夜と同じように愛撫がはじまって、さて、いよいよと思い、俺がごそごそと枕もとにおいてあった避妊具を取り出してつけようとする、また、

「そのままです。でなければいよいよ」

と言って拒んだ。運を天にまかせて、妊娠しない方にかけて抱こうとしたが、俺自身の昔の眼が思い浮び、ひんがらめのまだ見ぬ子に、にらまれて、何ともだらしない

い姿で萎えてしまった。

「あかん」

「だめなの」

「気が狂いそうや」

「生むのは私よ」

「生まれるのは俺の子や」

「いいじゃない」

「そうはいくか」

俺は一枚だけ、東京にまで手術をする以前の写真を持ってきていた。自分の黒ワク写真を見るよりもおぞましいものであった。俺自身の被膜をはいだ赤肌のように我ながら痛々しかった。よほど、その一枚を彼女に見せてやろうかと思ったがやめた。俺は未だにその写真を正視できないのだ。

恵子は一体、俺にとって何なのだろうか。恵子との関係を永久に続けたいと思っているのかそうではないのかさえもわからなかった。自分でも何故あんな写真を持ってきたのかわからなかった。ガーゼでおさえた傷口を、時々がしてながめたくなるのと同じ気持ちなのだろうか。

恵子は寝息をたてて眠っていた。女というのは途中で行為を中断すると不満を感じるものだと通俗小説なんかには書いてあったが、恵子の場合はどうなのだろう。男をよく知らないということだろうか。俺がはじめてということだろうか。それとも、いわゆる不感症というやつ

なのだろうか。明りを消した部屋で一人悶々として酒を飲み続けた。時々、隣りの部屋のトイレの水を流す音が聞こえる。子供の泣き声が聞こえる。咳込む声が聞こえる。外で酔っぱらいのわめく声が聞こえる。べたべたとスリッパの音をひびかせて足ばやに歩く人の足音が聞こえる。二度ばかりトイレで吐いた。吐瀉物の中に未消化の夕食のおかずがまじっていた。

翌日は二日酔いで起きることができず、昼過ぎまで眠っていた。血液が眠っている間に何か別の液体に変わってしまったように重たかった。部屋の中に、まだ、アルコール分が漂っていた。アルコール分にまじって、香水の匂いがかすかにした。女がいれば、それだけで空気がにごる気がする。起きあがり台所で冷たい水をたて続けに三杯飲んだ。重くなった血液が、多少は薄まるのではないかという気がしたのだ。窓からさし込む光の中で舞うほこりがひどく気になった。ズボンのすそを見ると、昨夜の吐瀉物の残骸が乾いて、へばりついていて、胃の表皮が一枚すっかりとはげてしまったように、きりきりと痛み、何も食べる気がしなかった。寝ころがったまま外をながめると、ガラスが油に汚れて、太陽の光を半分くらいにへらしているように見えた。太陽の光は半分へっても、まだ、十分まぶしかった。

考えてみれば、もう一週間近く大学の講義に出ていなかった。それでも、一人の友人も心配して訊ねて来ない、というのが俺の学生生活をよく表わしていた。大学に入ってから間なしの頃、東北地方出身の男が、俺の横に座わり、何かと話しかけて来たことがあったが、彼が何を言っているのか、ひどいなまりのせいでわからなかった。言葉がよくわからぬまま、聞き返すのも悪いと思い、生返事ばかりしているうちに、ばかにされたとでも思ったのか、その男は俺のそばに近よらなくなり、いつの間にか大学へも来なくなってしまった。その時も、彼がいなくなっても、誰も何も言わなかった。その後、一度だけ

神田の古本屋で見かけたことがあったが、ドイツ語の原書を手にとってながめていた。ひげがはえ、髪ものびていたため、俺に気がつかずに、かなりぶ厚いのを一冊買って、とぼとぼ歩いて行つた。

「今の人、何を買って行つたの」

「ニーチェだよ」

店の人はそう答えた。まだ第二外国語のフランス語で数を十まで書くことのできなかつた俺は驚いてしまった。実際に読んでいるのかポーズなのかわからなかつた。ただでさえ色白だった顔が、病的なほどやせて、青ざめて見えた。しかし、俺は、彼に声をかける気にならなかつた。

俺は三時頃まで横になって天井をながめていた。それから、バジャマを脱ぎ、洗濯をすることにした。ビニール袋にため込んだ洗濯物をポリバケツにあけて、洗剤をたっぷり入れ、手で洗いはじめた。その中に恵子の下着も何枚かまじっていた。わざわざ取り出してみる必要もないのに、つい気になってしまう。白一点張りだった自分一人の時の洗濯とは違って、薄いピンクであつたり花模様がついていたりする。

「ヒモの生活でこんなもんやろかな」

ヒモの大切な条件の一つである夜の生活に満足を与えようという点に関しては、俺は何もしていなかった。洗って、洗濯物を干そうと、一つずつしぼっていると、ブラジャーの下側に入っているワイヤーが飛び出しているのが見つかった。それが何だかひどく生々しく感じられた。恵子と俺との間に横たわる一線を未だに越えることができていないにもかかわらず、生活の匂いが立ち込めはじめていた。ただでさえ隣近所のうるさい噂に耳をふさがねばならぬ中で、外に女物の下着を干すのがはばかられたので、部屋の中に洗濯ひもをわたして干すことにした。男物の下着は部屋を暗くするだけだったが、女物は隠微にはなやいで見えた。洗濯のあと、そうじをはじめた。そうじなんて、もしかしたら東京に出て来ては

じめてではないだろうか。窓をふき、床をふき、トイレもみがいた。ガラスのむこう側の世界があらさまになるにつれて気分は憂鬱になってきた。光がふえれば、陰が目立つのだ。

俺の眼は、外界の事物に視点をあわせた時には、よく見える左眼が存分に働いて一つに見えるのだが、何か考えごとをすると必ず一つ一つの物が二つにわかれる。今まで、眼の前の景色が二つにわかれた。体制も反体制も虚構も現実も、具象も抽象も、すべてが同時に存在しているのだ。部屋の中には二本の洗濯ひもに二倍の洗濯物がぶらさがっている。片方の洗濯物は、単なる物質にすぎないのだが、もう一方は肉体のぬけがらであった。アウシユビッツには人間の頭皮で作った電灯の傘があったというが、それと同質の物がそこにぶら下がっているような気がした。男と女が住むのは、ひどく残酷な行爲だった。すべてがむき出しになるのが残酷なのではなく、新たな生命を生み出すことが残酷なのだ。

それにしても、木の根は土の中にあるが、人間の根はどこにあるのだろうか。妊婦の体の奥には確かに球根のような胎児が横たわっているのだが、生まれてしまうと、母体から切りはなされて、残るのは、単なる穴にすぎないのだ。それにもかかわらず、俺は、かなり長い間、眼には見えぬ根のようなものを、ずるずるとひきずって生きてきた。今だってそうだ。その根を信じれば信じるほど、やがて生まれてくるかもしれない子供に対する恐怖はついつい行く。俺の皮膚のどこから這い出た根が子供にむかってのびて行くのかと思うと、それだけでうんざりとし、気味が悪くなってしまう。

考えてみれば、俺の恐怖というのか不安は自分が親に向けた視線を受けたくないという卑怯者の表われに他ならないのだ。しかも、子供の眼に二人の俺が見えているとすれば、俺は自分というのから一歩も脱出していない。その点、恵子は、俺以上の不幸を背負っているはずなのに、一向に動ずる気配なく、堂々としている。男と

女の差なのであろうか。女の生理について考えをめぐらせるうちに、次から次へと様々な妄想が俺の頭の中を駆けめぐった。

男が妊娠する。男であらうがなからうが、妊娠するはずのない者が妊娠する。たとえばこの俺が、つき出た腹をかかえて荒野に立っている。カミユの「異邦人」の中に出てくるような、度をすごしてまぶしい太陽をながめているうちに、めまいとともに激しい陣痛におわれ、痔になりそうな勢いで、シャーッとピンク色の液体がほとばしり、足もとに小さな水たまりができて、続いて、尻の穴からポトツ、ポトツ、ポトツ、と確かな質感をともなつて、次々に三つ子が生まれ、ピンクの水たまりにあお向けに浮ぶ。俺は、その間、ずっと地面に仁王立ちして、腕組みをしながら、腰をぬかしたように呆然と座り込んでいる間のぬけた顔をした女（恵子ではなく一般的な女）をにらみつけ、おごそかな声をして、

「この子らを、これより『優』『学』『強』と名付ける」と傲然と言い放っているのだ。妊娠し出産するという特権を奪われた女は、ただひたすら平身低頭して恐縮しているだけであった。妄想の中とは言え、優しい子、学問のできる子、強い子というのは何と月並みな願いなのであろうか。まさに呵々大笑。一人の人間にもしも三つの物が同時にそなわっていれば、確かにすごいことなのだろうが、優しいだけの子、学問ができるだけの子、強いだけの子では生きて行く上に、かなり不便なことであつたが、何故だか知らぬが、とっさにそんな言葉が口を吐いて出てしまったのだ。

実際に、自分が女でないためかもしれないが女と仮定した上での妄想の中にも救いはなかった。俺は、眼の下がつた恵子のパンティーを手に取った。ただでさえ薄っぺらな上に、しめっているため、手のひらにはりついて生命線や感情線まですけて見える。俺はその読み方を知らない。読んで運勢がわかったところでは何になるのか。俺はズボンを脱ぎ、パンツも脱ぎ捨て、恵子のパン



ティーを身につけた。ヒップのサイズが一メートル近くある俺には、当然のことながら小さすぎて、すべてがおさまりきらなかった。俺は今、一体、何を考えているのか、自分でもわからなかった。薄い桃色をしたバンティは横に精一杯にひろがり、一本の包帯のようになった。

そう言えば、女の性器は、ばっくりと割れて、まだかわききらぬ傷口のように見えぬこともない。俺はしばらくそんなかつこうのまま、部屋の中を歩きまわった。

俺は誰なのだ。恵子は俺の素顔を知らない。俺も俺の素顔を失って久しいために、俺自身の素顔がどうであったか、本当のところ覚えてはいない。覚えていとすれば、それは現在の俺が、ひんがらめの子供に対して持っている露骨な偏見なのではないだろうか。俺自身が受けた屈辱の記憶などではなく、俺自身の差別意識ではないだろうか。そんな気がする。

遠い記憶のかたに、まだ十代だった父の妹が泊まりに来た時、扉のすき間の間の中で下着を脱ごうとして、パチパチと音をたてて青い静電気の閃光が放たれた光景が思い浮んだ。異性への想いの原点だった。近所の女子中学生にあこがれ、声をかけることができず何度も家の前を行き来し、部屋の前にかかった洗濯物を盗みかけたことがあった。そのブラジャーからも金属が飛び出していた。異性へのあこがれがすこしゆがんだ。俺の記憶には、まともな恋愛らしいものがなく、ややいびつなものばかりであった。俺には、異性に対するおびえとともに、普通の恋愛は許されないのだ、という思い込みがあった。相手の眼をまっすぐに見つめることができぬため、自分の全身をさらけ出すことが不安だったのだ。恋愛の行きつく先が、新しい生命の誕生ということに、かなり昔から恐れていたのも事実だった。

恵子が持ち込んだ鏡の前に立った。そこにうつった俺の姿は異様で不気味だった。鏡にうつった時計を見ると五時四十五分を指していた。恵子をはじめて見かけたカッター・ショップの時計は、鏡に映ると正しい位置に針と

文字盤が見えるように作られていた。鏡に顔を近づけると、時々そんな風になるのだがその角度のせいとか、眼がかつてのひんがらめに戻っているように見えた。俺は、その都度、しばらく眼を閉じてから、顔の位置をかえて眼が普通の位置に来るよう修正しなければならなかった。

「今日はどうしてたの」

「部屋の中を見たらわかるやろ」

「うわあ、やあね。まさか、手で洗ったんじゃないでしょうね」

恵子は、部屋の中につるされた洗濯物を見て言った。

「コイン・ランドリーに行ったんちゃうで。一枚一枚確認しながら洗ったんや」

恵子の顔には、今まで見せたことのない羞恥の色が浮んでいた。

「綺麗になつてるはずや」

俺は残酷に、そしてしつこく恵子をいじめてやりたくなっていた。人をいじめてみたかった。人が何をいやるかについて、ひどく敏感なのだ。

「ほら、みてみい。ええ匂いするわ」

ひもにかかった一枚を手にとり、自分の鼻におしつけて深呼吸した。

「洗う前の匂いも格別やったけど、洗ってからの、仲々のもんや。こないして頭にかぶって部屋の中、走りまわって二日酔いの汗出しとったんや。洗わんと、そのまま持つて行ったら、ええ値で買ってくれる、けつたいなおっさんがおるねんけど、俺は恵子のこともすごうに愛してるから、それだけはやめといたわ」

自分で自分の口に出している言葉に気分が悪くなってきた。みじめだった。みっともなかった。卑屈だった。ばかばかしかった。俺はトイレにかけ込んで、また、吐いた。朝から何度か吐いていたので、もう出る物もなかった。すっぱい胃液が、たんにまじって出てくるだけだった。はじめて精通のあった時（というより、はじめて

この手で自分のベニスを犯した時」黄色味を帯びて、にごった膿のような液体が、何の快感も得られぬまま、ズボンの間に屹立したベニスの先端のさけ目からもりあがるようにして出た。今吐いた胃液の色と、その時の精液の色とが重なった。そして精液の匂いとトイレのそうじに使う漂白剤のまじった洗剤の匂いとがかえていた。膿の中には、資本家があり、労働者があり、革命家があり、反動政治家があり、聖職者があり、殺人者も、医者も、弁護士も、娼婦も、天才も、狂人も、ゴールド・メダリストも、ありとあらゆる人間の種子があるのだ。そして、そのどれもが、俺の、最も忌むべき特徴を伝える遺伝子をそなえていた。

人間が生物であることを拒否すれば、やがて世界は、ほろびるであろうし、生物であることを受け入れたな



10 K. 11

ら、やはり、ほろびることの苦しみを味あわねばならぬ。いずれにしても絶望しかないなら、どちらをとるかだ。絶望しようが希望を持とうが、死んでやろうと思う時には生きていなければ意味がないのだ。

「飯はまだか」

何も言わず、黙ったままの恵子に言った。恵子の後姿を見るのが急につらくなったのだ。俺の弱さだった。俺は沈黙に耐えることができなかった。

「俺が作ったろか」

彼女は返事をしない。

「ヒモは料理くらいでけんとかあかんからな」

まな板を出して、野菜を切りはじめた。

「もう、いいわよ」

恵子は急に立ちあがり、小さなバッグを持って出て行った。バッグには金と化粧品が入っているのだらう。着がえも持たずに出たからいずれは戻って来るかもしれない。部屋の中に大きな空白ができた。俺は包丁を置いて切りかけのキャベツを手にとり、一枚ずつむいて紙くずでも丸めるようにして、ばりばりとかじった。虫になりたい。虫にでもなれたら、と思った。犬畜生などと言うが、再び生まれかわるとしたら、人間などではない方がよいと、思った。人間として存在することの方が虫になるより残酷な気がした。人間として犬畜生になり下がり、苦しむよりも犬畜生として犬畜生らしくらしをする方がよかった。自然だった。当たり前であった。小学校の遠足でシマウマの所にいた時、シマウマのまたの間から、まっ黒い五本目の足のようなのものがびて、しばらくぶらぶらし、さらにニョロニョロのびたと思うと、前にいたメスの上にとびのり、腰を動かしはじめた。先生はおろおろ、生徒は大喜びだった。人がその行為を秘め事などと言うのは、一年中のべつまくなしだからに違いない。一年に一度、春だけのことなら恥じることもないのだ。動物なら、どんな風に生まれたとしても差別したりしないだろう。人間の頭のように見えるキャベツの

まん中に包丁をつき立てた。出るはずのない血が、ぱつとふき出るような気がした。俺がつきさしたのが頭でなく、地球でもよかったのだ。マグマがふき出し、上を火の海にしてもよかったのだ。俺がさしたのは誰の頭なのだろう。眼をえぐり、皮をはぎ、こなごなに切りきさんだ。

俺も外へ出た。ポケットに、ありったけの金と、コンドームの箱をつつこんだ。体の中には、いら立ち、眼のつりあがった精子があふれ、精子は、俺の昔の眼をゴシヨウダイジにかかえた遺伝子をたくさんかえ込んでいた。父が、母が、そのまた父と母が、それこそ神代の昔からゴシヨウダイジにおろかなほどの忠実さで引き渡し続けてきたものではないか、という気がした。動物なら定期的に発情し、定期的に交尾して、何の疑問も抱くことなく、リレー競技のバトンさながら、営々と遺伝子の受け渡しの作業を行なうに違いない。オトナになるのに時間のかかりすぎるのも悲劇の一因なのだろう。

商店街の店にあるショーケースには、ほとんど何も残っておらず、店の前には水がまかれはじめていた。外は暗く、南側にならぶ店の電灯だけが明るかった。買物客はそれぞれの家々に消えて、仕入れた晩飯の材料を、愛情をこめ、工夫をこらして加工しているのだろう。そこには、様々な形態のイッカダンランがあつて、様々な遺伝子が肉体に仮住まいして様々な人間の形に化けて、様々な会話をかわしているのだろう。

「それだけのことやないか」

どこから悟りきった声が響いてきた。恵子は、そういう人間の使命みたいなものをいわば動物としての本能に根ざしたものを、ごく自然にとらえ、受け入れているのかもしれない。不幸な遺伝子というのは、不幸な管を通るようにできているのだろうか。それとも、不幸な遺伝子は通過する管をも不幸にするのだろうか。何だか、今夜は悲観的なことばかり考えなくなった。俺は、

昔の眼にこだわるあまり、自分の「悲劇的」な過去ばかり思い出して、ゼントヨーヨーたる未来を見失い、世の中の動きというのが見えなくなっていた。

ふらふら歩くうちに、つい、このあいだ、女を買うつもりで立っていたのと同じ場所にやってきた。あの時と、何も変わらぬ景色がそこにあった。一体、この数週間の間に何があつたのであろうか。町を歩いていると、時々、この光景は、いつか夢に見たのと同じではないかと思ひあたることもあるが、今の俺も、夢の中に見た世界に行きあたった感じだ。夢ではないことは確実なのだが、実に妙な具合だった。ただ、夢のような数週間前と違うのは、闇のかたから制服姿の恵子が歩いて来るのではないかと思っていることであつた。

(完)

## 『昔の眼』の連載を終えて

服部 洋介



授賞式で毎日書かねば書けなくなるという話をしたが、今はその毎日何かを書く事を自分に課している。発表しようがしまいがとにかく書かねばならぬと思っている。十年一昔という言葉があるが、一つの体験を客観的にとらえられるまで十年近くかかる気がする。最初に小説を書いたのは十九歳くらいであり、その時は幼年期を書いた。そして少年期、青年期序盤とでも呼ぶべき大学時代へと設定が移って来た。今も学生時代を書いているが、そろそろ社会へ出でからの自分へと筆を進めたいと思っている。こうしてみると、小説に表われる人物が自分そのものではないにしても、私が一番興味のある対象は自分という人間ではないかという気がする。歴史上の人物を追求するのも、自分にこだわるのも、有名無名の差はあっても同じ行為だと思う。殺人者でも女でもどこかに自分の一部が宿ってしまう。とにかく作品が目の目を見るのを待ちながら、毎日筆をとり続けるつもりでいる。



# ★神戸っ子トラベルコーナー

10時25分着ー峰山高原11時30分着  
(着後フリー)ー峰山高原15時20分  
発ー寺前16時30分発ー三ノ宮駅  
18時18分着  
募集人員／400名

費用／おとな¥5,400

こども¥4,400 (山菜弁当・おみやげつき)

★ナイスミディパス

国鉄全線(新幹線も含みます)グリーン車で、どこへでもフルに使え、何度でも乗り降りが自由です。(ただし国鉄バスには乗れません)また、30才以上の女性グループで、同一行程の旅行をされる場合に限りです。

料金／4日間タイプ(2人用) ¥60,000円(3人用 ¥90,000 6日間タイプ(2人用) ¥70,000 000(3人用) ¥105,000

発売期間／3月25日(日)7月31日

有効期間／8月10日まで

お問合せ・お申し込みは三ノ宮駅旅行センター 電話078-22110190

行程／三ノ宮駅8時33分発ー寺前



南国のロマンスを楽しみませんか

★香港4日間

出発日／5月21日7月24日

費用／¥75,000

行程／大阪ー香港(市内観光)ー

マカオ日帰り観光、ハーバークル

ーズ、マカオと中国中山日帰り

観光(以上オプショナル)

お問合せ、お申し込みは日本旅行

06(313)0691

★5月の国鉄全線旅行ー峰山高原

散策&やまめのつかみ取り

出発日／5月13日(日帰り)

行程／三ノ宮駅8時33分発ー寺前

です。それは港の沖に「うんか」

のごく出来たようです。水や燃料

食糧を補給するためかと思いが、さすがに交通の要所、入港隻

数世界一だけあります。

タクシーの運転手がやや日本語

がで「コンテナバース」を見せ

てくれましたが、その時「コウベ

コンテナNO.1」と言っていたの



インドネシアの帆船バックに

## talk and talk



<神戸っ子愛読者サロン>

★お元氣でお変わりなくおすごしのことと存じます。

こちらは、うるわしの春でありましょう。さて、我々このたび、2年3カ月のインド珍道中よりひとまず足を洗うことと相なりまして、3月末にスリランカ、4月5日はドイツの植松さんのところ

★カナイアンロッキードイズ  
ニランド観光ハワイ10日間  
出発日／6月4、11、18、25日  
費用／¥498,000  
行程／大阪ーバンクーバーパ  
ーロスアンゼルスホテルズ  
★メキシコ・アカプルコクルーズ  
出発日／5月12、26日 10月6、  
20日  
費用／出発日により¥778、0  
00180、000  
行程／東京ーロスアンゼルスク  
ルーズーマサチューセッツ州エル  
バラーダーマンザニーノアカ  
プルコ(10名より実施)  
お問合せ、お申し込みはセント  
ラルツアーズ(392)20008  
★チアラティビーチ7日間  
出発日／6月4、11、18、25日  
費用／¥278,000  
行程／大阪ーパカンス村滞在ーク  
アランシーシガポール



南国のロマンスを楽しみませんか

★イクスタバ9日間  
出発日／6月3、17日、7月1、  
15、29日  
費用／460,000  
行程／東京ーチアネホーパカ  
ン村滞在ーメキシコシティ  
パカンス村でまとまった日数を  
過ごす滞在型。パカンス村の入村  
から出村までは、完全なフリー  
タイムです。  
お問合せ、お申し込みは地中海

それから、'81年に完成した「チ  
ヤンギ空港」の広いこと。海を埋  
立てて造ったが、  
大阪からシンガポールに来るの  
に大変無駄なのは、飛行機が全部  
昼間便で往復2日は損をします。  
こちらでそれを話すと、チャンギ  
からは夜11時に発朝6時に成田  
に着く便もあると答えています。  
明日は妻と息子を連れて昼台で  
食事です。ハシガポールにて、  
港めぐり船長、角本隆より  
★マルコ・ベロッキオ監督の処女  
作ポケットの中の「きりこぶし」  
が大阪で初めて公開される。60年  
代イタリア映画界最高の新人と称  
されながら、日本ではその作品は  
一本も公開されていない。今回の  
作品は、徹底的な家庭を完全崩壊  
に導く若者を主人公にしている。  
お問合せはプラネット映画資料館  
電話06(364)21165





# 端午の節句は家族団欒で京料理を



御菓子処、高山堂は創業明治二十年の老舗で、竹本昇一氏は三代目。ピカピカの小学一年生、洋平君を中心に端午のお祝いに、家族揃って、西宮の自宅からも便利な「芦屋わらびの里」へ。

（右より竹本たづ子さん、孫の亜未ちゃん、竹本昇一様、高山堂代表取締役、洋平君、竹本純子さん、竹本清三高山堂常務取締役部長）

京料理  
わらびの里

## ■ 芦屋店

芦屋 打出小槌町30

営業時間…午前11時～午後10時（駐車場有り）  
TEL (0797) 23・5666

京都本店…京都・山科区小山中島町28  
TEL (075) 591・0911

新宿店…東京・新宿区西新宿2の4の1  
新宿NSビル1F  
TEL (03) 349・8789



スポーツはすべて基本から

# スクール生募集中!



教室案内 / 剣道 ● 杖道 ● 居合道 ● 空手道 ● 合気道 ● 少林寺拳法 ● 太極拳 ● ヨガ ● クラシックバレエ  
● ミニバスケット ● 親子体操 ● 幼児体操 ● 婦人体操 ● バトントワリング ● 小学生体操 ● ジャズダンス

まいあかれスポーツごころ

## SPORTS CLUB ROKKO

### 六甲体育館



入会申込み受付中 入会金3,000円・年会費3,000円

お問い合わせ・お申込みは 神戸市灘区新在家北町2丁目

☎078(841)1084





# 神戸のうまいもんとドリンキング

## ★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**  
中央区旗塚通7-1 ☎231-6300 トアロード店 ☎391-2538  
兵庫駅前店 ☎575-5306 住吉店 ☎453-3737

北海道郷土料理 **蝦夷**  
中央区中山手通1-4-13  
東門筋東門会館ビル1階 ☎331-7770

和食 **くれない**  
三宮生田新道浜側中央K Cビル2F ☎331-0494

料亭 **布引大しほ**  
中央区熊内町4-8-19 ☎221-1945

たこ焼 **たちばな**  
三宮センター街(旧柳蔭) ☎331-0572

民芸師食事処 **五事**  
炭焼ステーキ  
元町3丁目山側 ☎391-3156

山菜料理 **六段**  
国鉄三宮駅山側 ☎231-0406

トリドリ **トリドリ**  
中央区北長狭通2-5-1  
タイシンサンセットビル ☎391-3028

そば処 **木曾路**  
手打ちうどん  
フラワーロード市役所前K EビルB F ☎231-1295

鮎 **花銀**  
中央区二宮町3-10-16 ☎222-2323

どじょう **吾作**  
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ **三十三間堂**  
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

割烹 **銀座**  
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

甘党と **ばさら茶屋**  
阪急三宮西口山側レインボープラザ1F ☎321-6363

大衆割烹 **菊**  
中央区中山手通1荒神ビル3F ☎331-2878、332-3365

手打そば **つる庵**  
市役所花時計北・ハニービルB1 ☎331-0260

## ★各国料理

レストラン **グリル アコ**  
中央区生田町1-4-2 ☎242-2020P

レストラン **皮くあらかわ**  
中央区中山手通2-15-8 ☎221-8547、231-3315

ステーキハウス **グリル 青山**  
中央区下山手通2-14-5 (トアロード) ☎391-4858

スロニディナ料理  
と世界の民族音楽の店 **ゴックスタッド**  
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

佛蘭西料理 **果林**  
神戸プラザホテル2F (元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス **長崎**  
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎221-1086

レストラン **花扇**  
中央区元町通1-3-6 Lビル2F ☎331-8911

メキシコ小料理亭 **ティファナーナ**  
中央区中山手通1-21-13  
パルココーポラスビル1F ☎242-0043

ピザ・パブ **ピザ・パテオ**  
中央区元町通1-10-4 (元町1番街) ☎331-9378

フランス料理 **ピストロドゥリヨン**  
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727

レストラン **麻布キャンティ**  
中央区北野町4-1-12 美人館倶楽部 ☎222-5380

maiso de la mode **花屋敷**  
三宮フラワーロード市役所前 ☎251-2109

ポリネシア料理  
海賊焼 **フィッシャーメンズポート**  
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎331-0301

レストラン **フック 東店**  
中央区栄町通1-2-14 ☎321-3207

シーフードバー **ムーニークルーズ**  
三宮・生田筋 ☎331-8980

喫茶・レストラン **カフェ パウリスタ**  
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) ☎391-0061

ステーキハウス **れんが亭**  
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK **六段**  
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108

レストラン **フック 神戸店**  
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453

サンパと  
ブラジル料理 **コパカバーナ**  
中央区中山手通2-1-13 ☎332-6694・6697

ドイツレストラン **ハイデルベルグ**  
中央区山本通2-8-15  
ローズガーデン2F ☎222-1424

シルクロード料理  
スパイスレストラン **ぶはら**  
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎331-1734

The grill **BOB<ボブ>** トアロード西山側  
中央区北長狭通3-1-2  
ファーストバザ2F ☎392-2500

神戸ビーフ登録指定店 **和黒くわこく**  
中央区中山手通1-24-1  
ビルサイドテラス1F ☎222-0678

炭やきステーキ **凱旋門**  
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎392-3655

スロニディナ料理  
と世界の民族音楽の店 **ガスライト**  
神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111

フラメンコ  
スペイン料理 **エル・パンチョ キタノ**  
中央区北野町3-2-4  
アムルド・マニション1F ☎241-1344

中国料理 **萬壽殿**  
中央区中山手2-20-4 ☎231-4531

フランス料理 **ルー・サロメ**  
中央区中山手通2-3-7  
第2六門亭ビル1F ☎392-1251

北イタリア料理 **ベルゲン**  
中央区山本通2-3-2 ☎241-6952

炭焼ステーキ  
ステーキハウス倶楽部  
中山手通1-32-5 ペンシルビル1F ☎241-7500

炭火焼肉 **キムズギヤラリー**  
中央区中山手通2-3-19  
ロータリーマニション中山手1F ☎332-2900

ステーキハウス **伊藤**  
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031

レストラン **GOONYI (炭焼ステーキ)**  
中央区北長狭通3丁目 ☎321-3540

炭焼ステーキ  
フランス料理 **GOONY KITANO (ゴーニ)**  
中央区北野町4丁目 ☎242-2562

KUSIKATU **花串**  
中央区三宮町2-9-2 ☎391-2617

フランス料理 **シャンテクレール**  
三宮ターミナルホテル4F ☎232-1682

フランス特産料理 **トゥールドー**  
中央区諏訪山公園展望台 ☎241-0168

ステーキ&  
ドリンク **神戸館**  
中央区下山手通2-2-9  
アマツビル1F ☎321-2955

広東料理 **神戸元町別館牡丹園**  
元町通1丁目協和銀行北側小路西入る  
☎331-5790・6611

## ★喫茶

喫茶 **ガーデニア**  
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎321-5114

喫茶 **カフェ・ド・ガーデニア**  
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎392-4004

LE CAFE **ガレ**  
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144

宮水のコーヒー **にむら珈琲店**  
中山手店・中央区中山手通1-26-3  
☎221-1872、231-9524  
三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎241-2777  
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎391-0669  
北野店・山本通2-1-20 ☎242-2467  
(会 員 制) 3F事務所 ☎242-1880

ピアノホール **バックステージ**  
中央区三宮町1  
サンプラザ10F サンロイヤル ☎332-0230

珈琲 **モーツアルト**  
中央区山本通2-6-11  
グランドマニション1F ☎241-3961

サンドイッチハウス **ココアココ**  
中央区加納町4-7-11 ☎392-4031

珈琲 **ん**  
中央区三宮町2-9-6 (トアロード) ☎391-1589

喫茶 **英屋**  
神戸国際会館前側 ☎251-4562

喫茶 **葡萄屋**  
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 **仏蘭西屋**  
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 **ぶどうの木**  
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

レストラン&バー **デュック・ウェリントン**  
中央区北長狭通2-6-6 (トアロード) ☎332-1125

ウィーン菓子 **モーツアルト神戸**  
中央区布引町2 イズンロージュ1F ☎242-3001  
姉妹店・モーツアルト三宮 神戶国際会館前側 ☎251-3616

茶房 **ナイル**  
中央区下山手通6丁目2-7 ☎341-7376

喫茶 **モンブラン**  
フラワーロード市役所前K Eビル1F ☎231-3605

ドイツワイン・コーヒー  
ブティック **ローテ・ローゼ**  
中央区北野町4-9-14 ☎222-3200

コーヒー **カフェ・ド・パリ**  
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP **ファミリア北野坂ハウス**  
中央区北野町2-8 ☎222-3535

喫茶 **チャロ**  
中央区中山手通1-24-10 ☎241-5470

コーヒールラウンジ **City of City**  
中央区三宮町3-9-1 ☎331-1117

ティー&スナック **エボック**  
中央区元町通3-8-8 (浜側) ☎331-3694

喫茶 **テルミーニ**  
中央区国鉄元町駅構内 ☎332-1682

炭火焙煎珈琲 **珈琲倶楽部**  
神戸市中央区北長狭通1-10-6 (生田筋)  
ムーンライトビル1F ☎332-2016

炭火焙煎珈琲 **萩原珈琲店**  
神戸市中央区中山手通2-21-3  
ビルサイドテラス1F ☎222-1457

ミュージック・ラウンジ **サントノール**  
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822  
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎221-3886

スタンド **千里**  
中央区中山手通2-11-1 ☎331-4730  
K. S. Mビル1F

c i u b **飛鳥**  
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

c i u b **小万**  
中央区東門筋中島ビル3F ☎391-0638・4386

Member's Lounge **異人坂**  
中央区北野町2-9-22 (三本松不動北) ☎222-2001

c i u b **さち**  
中央区下山手通2-17-13 ☎331-7120

クラブ **千**  
中央区下山手通2-12-6 ☎391-1077

c i u b **なぎさ**  
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブ **るふらん**  
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

c i u b **3 Moon Light**  
三宮・生田筋Club ☎331-0157 | Bar ☎331-9554

c i u b **コトブキ**  
中央区三宮本通り ☎331-1875

★STAND & SNACK

レストランBAR **薇薔屋**  
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

サロ **アルバトロス**  
中央区中山手通1-22-10 ☎231-3300  
大和ナイトプラザ2F

ブチシャンソン  
音楽の家 **E T エトワトイ**  
中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755  
神戸トアロード三宮センター街西入口 スカイオービル3F

Theater pub **トム・キャンティ**  
中央区下山手通2-8-2 ☎331-2122  
神戸ワシントンビル1F

サウンド イン **キャンデー**  
中央区北長狭通1-21-15 ☎392-3606  
ニューアンカビル3F

スタンド **グラムール**  
生田筋ビル地階 ☎331-4637

サロ **神戸時代**  
中央区中山手通1-23-10  
モンシャットコブキビル ☎242-3567

カクテルラウンジ **サヴォイ**  
高梁山側 テキの店北 ☎331-2615

LOUNGE **コリーナドーロ**  
中央区中山手通1-22-13 ☎222-5470  
ビルサイドテラス1F

ミュージック・ラウンジ **サントノール**  
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822  
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎221-3886

スタンド **千里**  
中央区中山手通2-11-1 ☎331-4730  
K. S. Mビル1F

素舌洞 **でっさん**  
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

STAND **マシユケナダ**  
中央区中山手通1-4-6 ☎331-5587  
ユーベルビル4F

メンバーズ **モンテカルロ**  
中央区中山手通1-7-6 ☎391-0081

シャングリラ **モンテカルロ**  
中山手通1 マリリンビル1F ☎391-8941  
グランプリ 中山手通1 ニュー友藤ビル1F ☎391-4406

WINE & RESTAURANT **酒夢猫**  
中央区中山手通1-13-14 ☎332-3308  
神戸酒販ビル2F

末広光夫の  
ミュージックサロン **ティファニー**  
中央区中山手通1-21-13 ☎241-1771

Wine and Something **珍地理屋**  
中央区中山手通1-22-10 ☎242-0288  
大和ナイトプラザ1F

SNACK **プチおるごーる**  
中央区下山手通2-11-1 ☎332-2680  
K.S.Mビル2F

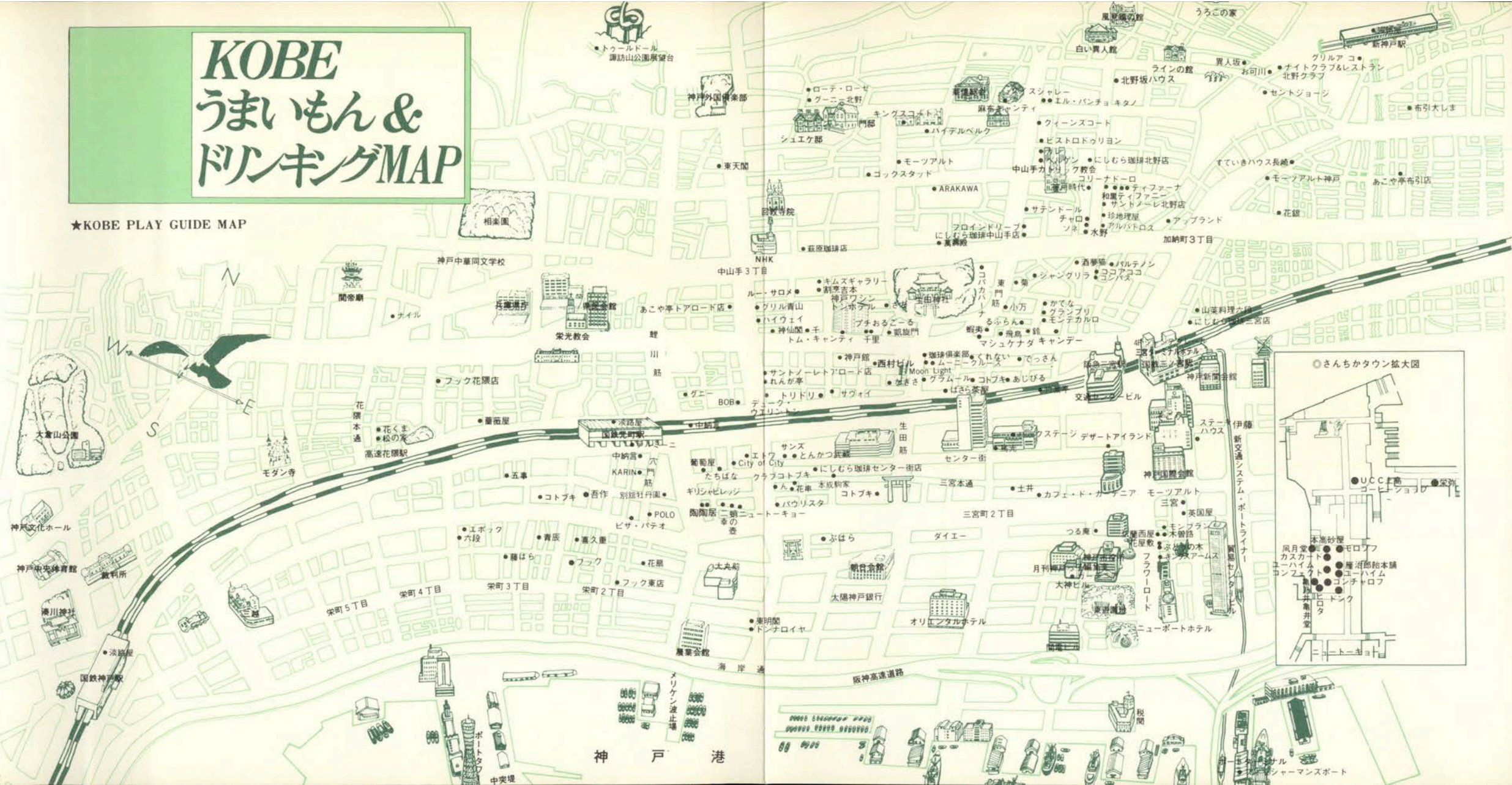
レジャービル **西村ビル**  
中央区北長狭通2-12-10 (生田筋) スーパーステーション  
ランダムハウス45rpm 虎造 楽 店 ☎242-3567  
エスエイククラブ

スタンド **かてな**  
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎331-1316

LOUNGE **パルテノン**  
中央区加納町4-8-13 高橋ビル3F ☎391-4123



## ★KOBE PLAY GUIDE MAP





# A HAPPY WEDDING



♥ 後悔だけはさせないよ

今井 静夫・しのぶ夫妻

昭和59年3月18日挙式  
於 阪神平安閣

(西宮市甲東消防署勤務)

しのぶさんが静夫さんとの結婚を決意したのは、六甲ドライブ中のこと。2人が知りあって2ヶ月目の夏の日「これ！」といって彼が差し出したプレゼントをあげてしのぶさんは大感激。いつのまに調べたのか彼女の指にぴったりのダイヤの指輪が手の中に輝いていたとか。ハネムーンはヨーロッパへと旅立っていきました。

総合結婚式場



## 平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15  
阪神／尼崎市昭和通5丁目182

サンゴライターのサンサンコ  
☎ (078) 351-3390  
☎ (06) 413-3303(代)

### KOBE HEIANKAKU



### HANSHIN HEIANKAKU





## カスカード

・パンの歴史をつたえる  
門戸厄神駅前店 ☎0798-53-1033  
カスカードのパンは、女子大生・主婦と年令を問わずに、おいしさを満喫していただけます。



## グリルアコ

・鉄板焼・生スパゲティ・ミニしゃぶ・喫茶  
中央区生田町1-4-20 ☎242-2020  
「おいしいわ」を連発の中川真弓さんは「ぼくらは怪しいサラリーマン」で人気。4月から朝日「生クイズ」夫婦でドン



## 太田べっ甲店

・べっ甲  
元町1番街山街 ☎331-6195  
ネックレスとイヤリングのベアーはいかがですか。趣きが一味違ったネックレスは大受好評です。



## 杏〈アングズ〉

・宝飾・アクセサリ・雑貨  
センタープラザ1F ☎332-3907  
5月で7周年を迎える杏です。ウツドネックレスなど、5月セールには春夏物もふんだんに揃えてあります。





SHOPPING

USVA USVA SANBA!!

祝'84神戸まつり

5月18日前夜祭

5月19日各区のおまつり

5月20日メインフェスティバル

花と海と太陽のKOBEの街へ



・レディスファッションハウス  
トアロード・大丸山側 ☎331-7857  
新しく生まれ変わったパセリオシヨ  
ップ「マリーキュリー」。シンプルな店内も  
ファッション感覚が一杯です。



・オーダーメイド・紳士服  
神戸国際会館3F ☎231-3575  
ダンヒルのグリーンカラーであしら  
った阪神の平田選手愛用のブレザー。  
（アダムGは5月で10周年を迎えます）



・面材・額縁  
トアロード・大丸前 ☎331-1309  
雪山とバラのイメージが、人の暖か  
い心に響いてきます。白きアートをど  
うぞあなたのお室に。



・建具・家具金物・家庭用品  
トアロード ☎332-2325  
イタリア製のピエロの壁かけ。おど  
けたピエロは、どこまでも夢を与えつ  
づけてくれます。（赤・紺の2色あり）

アダムG（岡田巖）

カギ屋金物店

# “味道楽”にうってつけ

テレビ大阪で4月から始まった新番組“ちょっと味道楽”に神戸元町別館牡丹園が登場した。食通の国会議員、中山正暉氏がホスト役で各界の著名人が推薦する京阪神のうまいものの店を紹介するという趣向で、この日は女優野川由美子さんの推薦。王鮑恵美夫人とおしゃべりを楽しみながら、牡丹園の名物料理を味わって頂いた。ミセスの食べ歩きには大いに参考になりそうです。〈放映／4月21日(土)10:45AM～11:00AM〉



当店は本店も支店もございません！

広東料理 **別館牡丹園**  
神戸元町

元町通1丁目協和銀行北側小路西へ入る  
☎331-5790・6611 11AM～8:30PM 第3水曜休(但し8,12月は除く)



# 神戸のよさが元町に…



神戸三越  
元 町



元町商店街  
グ



大丸前商店会  
ル



大丸神戸店  
ー プ





シャ・パルテノン宮殿の美学が生きるドリンキング  
ース。アダルトムード漂う中で憩のひとときを。  
ヤングは女性¥2000 男性¥3000で飲み放題(6PM~8PM)



中央区加納町4-8-13 高橋ビル3F

03-4123 6:00PM~1:00AM 日祝休(パーティ予約受)



ステーキの社交場。ワインの香りと肉のうまさに語ら  
弾む。神戸のハイクラスエティが集うステーキハウス



ステーキ ハウス  
**伊 藤**

中央区御幸通7-1-20(大信ビル8F)

AM11:30~PM9:30 年中無休 ☎232-3031



フィッシュマンズボートにまた一つ名物が生まれました。

シェフ特製デザート<ストロベリータルト>  
ババロアをパイに添えて南国のフルーツをあしらいました。



ロマンチックな港のレストラン

**フィッシュマンズ・ボート**

ボートライナー・ポートターミナル駅ビル内

☎331-0301~2 月曜日定休



今宵のカクテルラウンジは酔いと会話がリフレクション。  
多彩なドリンクがハートの中に古い錨を沈めるかのよう。

**蒼い錨**

中央区北長狭通1-21-15 生田新道レング筋角

ニューアンカービル地下 ☎331-7173

The moon is the same moon above you, aglow with its cool evening light  
But shining at Night in Kobe, never does it shine so bright.

MAY IN TOWN



初夏の心地よい風に乗って気分はルンルン。あま〜い甘いキャンデーみたいにハッピーな酔いと音楽をあなたに。

SOUND INN  
キャンデー

中央区北長狭通 1-21-15 生田新道レングス角  
ニューアンカービル3F ☎ 392-3606



Always Keep Drinking Spirits in Our Life!  
Yes, The Drinking is My Way of Life-NOW.

Piano Hall  
BACKSTAGE

中央区三宮町1さんプラザ10F サンロイヤル  
☎ 332-0230 第1,3月曜休

Coffee Time 11:00-6:00 Whisky Time 6:00-12:00



夙川女子短期大学の同期の桜(娘)です。卒業して3年、私たちの友情もここのお店も変わりなく嬉しい限り。

JAZZ & WHISKY HOUSE

SATIN DOLL.

中央区中山手通1 富士産業ビル1F  
☎ 242-0100 無休



厚い鉄板で、材料を重ね、じっくり焼きあげるウワサの  
広島流お好み焼。1926年型Tフォードがお待ちします。



広島お好み焼きパブ

Tフォードハウス

中央区元町通1-14-2 明松ビル1F  
☎ 331-5830



# 地域コミュニティの中に生きる遊戯スペース



1 階は、HOGARAKA(PACHINCO)  
2 階は、関西棋院瀬支部、水道筋囲碁クラブ  
など明るく健康的な地域コミュニティの中に  
生きる遊戯スペースとして役立っています。

HOGARAKA・瀬区水道筋 2 丁目16



店舗のことなら  
企画・設計・施工



INTERIOR DESIGN  
**MITSUWA**

〒651 神戸市中央区割塚通 5 丁目 2 の18  
上村ビル内  
電話 神戸 (078) 222-2011(代)



今年は、神戸にも春の訪れが遅く、例年になく春雪に、コートのもを立てる日が多かった。そういう日々のなかで、どうやら春の気配が感じられる三月一六日の夕べ、さわやかで心温まる一つの集いがあった。エッセイスト・吉村由美さんの出版を祝う会が、神戸市内の中国料理店で開かれたのだ。

吉村由美さんは、すでに昨年の五月に、エッセイ集『魅せられし時のために』を神戸新聞出版センターから上梓し、小誌や『グリーンライフこうべ』などにエッセイを寄せられ、その言葉に対する厳しさと、美しく、かつ、適格な表現は、多くの人たちに深い感動を与えている。

その後、多忙な中で執筆活動をつづけられ、このほど、PHP研究所から『大学入試の決め手・国語力をつける法』(680円)が刊行され、それを記念する会の開催となったものだ。

この本は、推薦のことばで、外山滋比古お茶の水女子大学教授が書かれたように、「受験勉強を学問としてとらえる」姿勢が一貫しており、単なる受験生向けの学習参考書というよりも、一つの作品と言うべき好著である。

この日、東京からかけつけたPHP研究所第一出版部編集長の川越森雄さん、同じく出版担当の真

ある集い

## 吉村 由美 出版記念会

—若者へ贈る愛のメッセージ—



吉村さんを囲んで心温かな人たちが集った



出版を記念して祝杯があげられた(右端が吉村さん)

部菜一さんがそれぞれ挨拶をしたあと、吉村さんの恩師である水谷昭夫関西学院大学教授から「粗野で無法な言葉の氾濫する今、吉村さんの言葉は珠玉です。振り向かないで歩きつづけて欲しい」とのメッセージが寄せられた。

来賓の挨拶が終ったところで、吉村さんが壇上に立ち、物静かに出席者に語りかけた。

「精いっぱい日頃から考えていたことを書きました。小さな宝石箱から宝石を一つ二つ取り出したような気持ちで、まだまだ書きたいことがあります。出来るだけ質のいい仕事をしたいと思っています。それには自分のなかにパッションとして燃えあがるものがないといけません。情熱をもち人を愛せることが出来るなら、それは素晴らしいことです。心をこめた青春はそうたやすくは「びる」ものではない。これは私の好きな言葉です。心をこめて生きて、ヒューマンな人間愛をもって真理を愛す。これが学問です。人には温かな心を、自分には厳しく。そうであるならそれは幾つになっても青春です。私はこれから日々学ぶことを若い人に教えたい。もの書きである自分と学問に情熱をぶつける自分。この二つの仕事を平行してやって行きたいと思っています」

温かな拍手がいつまでもこの夜のヒロインに送られていた……。

NEUE

MODE

MÄRCHEN



# パリ旅日記

篠原順子〈スチリスト〉

パリの街にも、マクドナルドやピッツア、フライドチキンなどのファーストフードがずいぶん目につく、手軽でスピーディー、イージーさが若者に受けている様だ。グレイッシュでハーフトーンの街の風景とはチグハグなカラフルな看板が異様な感じ。そのうちナント力弁当やジューズ、ビールの自動販売機が現われるのでは？どこに行っても同じではつまらない気がする。

どっしりとした石の建物と石畳に、コカコーラやハンバーガーは似合わない。

古いパリが残っているうちのひとつとして、モンマルトルの丘がある。かなり観光コースになっていて人が多いが、少し裏に入るとひっそりと静かな、古い古いパリがある。

はずれた細い路地の、剥げ落ちた壁、くずれ落ちそうな手すり、それでもきれいに磨きこまれた窓のガラス、





アンティークなレースのカーテン、道ゆく黒い服のおばあさん……絵になる。  
長いフランスパンにハムをはさんだ大きなサンドイッチや香ばしい焼栗、甘いクレープの香り……。やはりこの方がピン、と来る。たまに海の向うからやって来る我々の勝手な思いかも……。  
古き佳き、セピア色の写真のように、このままであってほしい。

Ras,  
\*, 16  
3-76-0  
tits-C  
lacid  
6014 F  
de Qui  
4. Poi  
5001 Pa  
Saint-Ge  
Boussac  
Paris, 23  
et Marie-C  
Melun, 43  
Haussman.  
rue de l'Al  
Gliss Casa  
Choiseul, 75  
rane, 23, ru  
Strömma\*,  
2, quai Jear  
28-43-43. S  
Saint-Germ